

みちのく潮風トレイル

みちのく潮風トレイルは、東北北部の太平洋沿岸に 1,025km にわたって延びる長距離遊歩道です。東北地方の古い呼び方である「陸奥（みちのく）」とは、「陸の果て」という意味です。青森県の八戸にある蕪島はみちのく潮風トレイルの最北端で、最南端は福島県の相馬市にあります。

みちのく潮風トレイルの八戸部分は、海蝕によって形成された険しい岩礁、白砂の浜、うっそうと茂る松林、広大な天然芝生地がみどころの、種差海岸沿いをたどる約 15km のゆるやかなハイキングコースです。海岸の景観に加えて、季節に応じて多様な固有植物も見ることができます。トレイル沿いの標識は付近のみどころを示しています。

このトレイルのハイキングにおける最大の魅力のひとつは、地域住民との交流を通じて、この海岸地域の暮らしとその暮らしが自然環境によってどのように影響されているかを直接学ぶ機会が得られることです。